

きずな

2012年12月13日

NO 913

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel. 62-6200)

12月3日、井原市議会12月定例会が開会しました。会期は12月17日までの15日間です。一般質問は、12月5日、6日、7日の3日間行われました。森本議員は7日に質問しました。質問と執行部答弁の概要は次のとおりです。

森本ふみお議員の質問の概要

◆不況が続く情勢下で行政の果たす役割をどう考えていますか

「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」これは国民の生存権を規定した憲法第25条です。私はこの第25条の精神に沿って議会内外で活動しています。しかし、現在の情勢は、高齢者、中堅労働者、青年、子どもたちにとって大変厳しいものになっています。

こういう厳しい情勢の中におかれている市民に対して、井原市はどう臨もうとしておられるのか、また、憲法第25条の精神に立って、市民福祉の充実を目指すことが重要だと考えます。新年度予算にどう反映させようとしておられるのか、行政の果たす役割の基本的なお考えと具体策をお尋ねいたします。

◆学力低下の原因究明と学力向上対策をどう考えていますか

いま学力低下が指摘されています。教育委員会として、学力低下の原因究明をしていますか。してあればその詳細をお聞かせください。

また、学力向上対策をどう考えていますか。

◆市長は場外舟券売場の設置に同意しないこと

11月13日の場外舟券売場に関する新聞報道によると、12日に設置者の遊技業者が市長に、同意申請書と事業計画書を提出したようです。市長は「一部の市民が心配する交通安全、治安面、環境美化、青少年への影響などについて、倉敷市の考えを聞きたい。申請内容を十分に検討して判断したい」と言われたようです。

市長が言われるように、「一部の市民」が心配しているのではなく、市内の有識者や教育者をはじめ、多くの市民が設置に反対しているのが実情です。したがって、設置に同意しない決断をしていただきたい。(写真右：建設予定地)

◆就学援助制度の改善・充実を

国は、就学援助制度を改正し、今までの援助項目に新たに、クラブ活動費、PTA会費、学級会(生徒会)費の3項目を加えました。井原市でもこの3項目を援助項目に加えて実施してはどうですか。

森本議員の質問に対する執行部答弁の概要

市政を預かる立場として市民の安全安心と幸福の追求は最大の課題と考えており、市民福祉の充実を図るうえで憲法第25条の精神に立って、行政を進めていくことは大変重要なことと認識している。

本市では、市民一人ひとりが輝き、尊重される協働による市民主体のまちづくりを基本理念とした第6次総合計画をベースに、着実な実施を図っている。

本年度、平成29年度までの後期計画を市民の方々と共に策定しているところです。

この計画では、6つの基本目標を定めており、社会福祉の増進では、基本的人権や生存権を念頭に置いた各種施策を推進しています。

市政の推進を図るうえで、医療の充実や雇用の確保等困難な課題が山積している中、市民福祉の向上を目指して各種の施策の推進に取り組んでいく。

学力向上は喫緊の課題ととらえています。県や全国学力学習状況調査の結果をうけ、教育委員会では結果を分析し、学力低下の原因や今後の対応について協議した。

①学びに向かう姿勢づくり②授業改善③書くことの苦手意識の克服④学習到達度確認テスト等の積極的活用の4点を学力向上を図る取り組みとした。

教育委員の方々から学力向上のためには、①読書活動の推進②放課後学習③家庭学習の充実が必要であり、幼児期から生活リズムの向上改善など学校だけでなく、家庭や地域の方々と協力して取り組む必要があるという意見をいただきました。

引き続き教師の授業力の向上、学校の組織力の向上に向けて指導していく。

本年2月に地元自治会の同意が得られ、市民の代表で構成する議会において9月28日に設置に関する願いの陳情が本会議で採択されたという結果を重く受け止めておりますので、**熟慮の上近いうちに適切な判断をしたい。**



平成22年4月1日から新たに3項目が追加されています。新たに3項目を追加した場合450万円程度の財政負担が必要になる。

この制度は、憲法第25条の生存権、26条の教育を受ける権利、教育基本法第4条の教育の機会均等を根幹にしていることは承知している。**他の福祉制度等との整合性を鑑みながら、今後援助の在り方について研究していきたい。**

◆市道井原北川線と日芳橋塚原線の三差路交差点の改良計画はどの位進んでいますか

今年の2月議会で、この交差点（写真右）改良を提言しました。この時、市長は「周辺地権者や地域住民の方々との協議を行う資料である概略設計により、地域住民の方々や周辺地権者の方々のご意見をいただきながら協議を進め、渋滞が解消され安全に、また円滑に通過できる交差点となるよう取り組みたい」とお答えになりました。

関係地権者との話し合い等がどのように進み、今後の改良計画はどうなりますか。

現在、概略設計をもとに関係地権者の方々に改良計画案のご説明と今後の用地などのご協力をお願いしております。

実質的には**来年度から現地測量を行い順次すすめていく**予定にしています。



市長答弁のあと、森本市議は、地権者の方々とはよく話し合い、地権者の方々の話をよく聞きながら進めていただきたいと要望しました。

◆住宅リフォーム補助制度を来年度も実施を

平成23年度にスタートした住宅リフォーム制度は、今年度も継続実施されています。この間の工事費実績で見ると非常に経済効果があることは実証されています。

地域活性化のためにも、来年度も実施していただきたいと思っておりますがどうですか。

平成23年度に342件の申請があり、補助金4744万円を交付し、それに対する経済効果額は約6億円となっている。今年度は、11月末時点で270件の申請があり、4073万1千円の補助金の交付決定をしている。経済効果額は、約6億2400万円となっている。

これまでの状況を見てみると、市内事業者の活性化及び経済効果は大変大きいものと考えている。

平成25年度も引き続き実施したい。

◆イノシシ、サルなどの捕獲で、三重県が実施している「まる三重ホカクン」作戦を導入してはどうですか

三重県が実施している「まる三重ホカクン」作戦は、ITなどを駆使した作戦で、非常に効果を上げています。

井原市でも調査・研究し実施していただきたい。

有害鳥獣の被害については、イノシシ、サルによる被害報告や目撃情報があることから、大変苦慮している。

今後、この捕獲監視システムについて、**猟友会駆除班や井原市有害鳥獣被害防止対策協議会の中で、調査・研究を進め、設置についての判断をしていきたい。**

費用は捕獲柵は別にして、赤外線カメラ、ソーラー施設、パソコンなどが約70万円。インターネット使用料、電気代などで約10万円が必要。

◆四季が丘グラウンド・ゴルフ場へ、各種大会時に大会関係者（事務局）が専用できるパソコンとプリンターの設置を

四季が丘グラウンド・ゴルフ場（写真右）は、オープン以来、市内外からの利用者が多く、利用計画を大幅に上回っていると報道されています。

ただ、現在では、大会を開いてゲーム終了後の順位決定までに、かなりの時間がかかっています。時間短縮の方法として、パソコンを利用して処理する方法があり、そのための大会関係者（事務局）が専用できるパソコンとプリンターを設置してほしいという要望があります。

成績のパソコン処理は、時代の流れであります。この要望に応えていただきたい。

このご要望については、利用者の方からも直接お聞きしています。

設置に向けてセキュリティ対策などについて検討していましたが、この度、利用者皆様の利便性向上のため設置することにし、**すでに3日（月）に設置しました。**

開場以来大変好評いただいております。今後も様々な大会をお気軽に開催していただき、その際に、このパソコンとプリンターを大いにご活用いただければと考えています。



教育長答弁のあと、森本市議はPRが大変大事なので、特に市外の方々に対するPRを研究していただきたいと要望しました。

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙3,400円日曜版800円)